

II 年間指導計画

学校教育目標	一人一人の個性・能力を伸ばし、人間力や学力の向上を図り、希望進路の実現を目指す。
	家庭や地域と連携して、信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりを推進する。

心のサポートチーム：校長 教頭 生徒支援部長 保健部長
 (いじめ対策・特別支援) 各学年副主任 養護教諭
 *状況に応じて関係職員等も含めて編成

関係機関： 姫路警察 222-0110
 姫路少年サポートセンター 285-4668
 県警サイバー犯罪対策室078-341-7441

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	心のサポートチーム ・中学校からの引き継ぎ(中学校からの書類は保健室保管) 職員会議 ※1	新入生実態把握調査 ※4 HR・特別活動 ※4	オリエンテーション スマホ3ヶ条ポスター掲示 ※2 個人面談 個人状況把握 ※3	1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対応チームを中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。
5月	事業発生時、緊急対応会議の適時開催(通年)	学級・学年づくり 人間関係づくり	(交通安全指導) 個人面談 個人状況把握	3 各個人の様子を学年会議等で情報交換し、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。
6月	保護者向け啓発(ネットいじめを含む) HPIにアップ ※5	学級・学年づくり 人間関係づくり	スマホ社会実験 ※7 (鷹山祭) スマホアンケート 授業公開	4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。 5 年間を通じて、登校時のあいさつ運動を実施する。
7月			いじめアンケート (球技大会)	※1 職員会議 いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
8月		カウンセリングマインド(特別支援)研修 ※11	三者面談 個人状況把握 ※6	※2 いじめアンケート 年度当初、各学期始めに、休み中の状況把握と同時にいじめの実態把握のアンケートを実施する。
9月	心のサポートチーム 職員会議	学級・学年づくり 人間関係づくり	個人面談 個人状況把握	※3 個人面談/個人状況把握 年度当初、各考査後等の区切りごとに個人面談を実施し、クラス内の生活状況把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。
10月		学級・学年づくり 人間関係づくり	(2年修学旅行) 個人面談 個人状況把握	※4 新入生実態把握調査 新入生、保護者を対象とした面談をもとに特別支援の計画等を作成する。
11月		学級・学年づくり 人間関係づくり	いじめアンケート 授業公開	※5 保護者向け啓発/研修 ホームページや合格者説明会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者向けに「いじめアンケート」(2学期のみ)を含む様々な情報を収集する。
12月		人権教育研修 ※8 (綱引き大会)	三者面談・個人状況把握	※6 三者面談 1, 2学期の終わりに保護者、生徒と三者面談を行い、家庭の様子を把握し、いじめが起こっていないか確認をする。
1月	心のサポートチーム ・情報共有 職員会議	カウンセリングマインド研修	個人面談 個人状況把握	※7 スマホ社会実験・スマホアンケート 鷹山祭まで、スマホの校内使用時間を拡大して生活状況を俯瞰する。生徒会が生徒にアンケートを取り、飾西高生のスマホ利用状況を客観的に分析し、検証活動を実施する。
2月			いじめアンケート	※8 人権教育研修 人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。
3月	心のサポートチーム ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正	次年度に向けクラスづくり (球技大会)(ふるさと美化活動) 情報教育セミナー ※10		※9 学級・学年づくり/人間関係づくり 1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについてLHR等で学習する。 ※10 情報教育セミナー 新入生とその保護者に、入学前に SNS の正しい使用について理解を深め、家庭でのルールについて考えていただく。 ※11 カウンセリングマインド研修 ロールプレイ等、研修の実施方法を工夫するなど効果的な研修を実施する。